

本論文は

# 世界経済評論 2023 年 1/2 月号

(2023 年 1 月発行)

掲載の記事です



世界経済評論

## 定期購読のご案内

年間購読料

1,320円×6冊=7,920円

6,600円

税込

17%

送料無料

OFF

富士山マガジンサービス限定特典

※通巻682号以降

定期購読  
期間中

### デジタル版バックナンバー読み放題!!



世界経済評論 定期購読



0120-223-223

[24時間・年中無休]

お支払い方法

Webでお申込みの場合はクレジットカード・銀行振込・コンビニ払いからお選びいただけます。  
お電話でお申込みの場合は銀行振込・コンビニ払いのみとなります。

Fujisan.co.jp

雑誌のオンライン書店

## 中国減速の深層 ：「共同富裕」時代のリスクと チャンス

国際経済研究所首席研究員 伊藤 信悟



[著者] 福本智之（ふくもと ともゆき）

大阪経済大学経済学部教授

[発行] 日本経済新聞出版，2022年6月

[判型] 四六判，376ページ

[定価] 本体2,200円＋税

本書は、中国経済の先行きに関心を持つ人々にとって必読書である。そう断言できるだけの優れた特徴が本書にはある。

本書は、成長会計分析に基礎を置く先行研究を吟味したうえで、2035年までの中国の成長性を定性・定量の両面から検討している。かつ、定量分析に際しては、中国政府が意識する2020～2035年のGDP倍増目標が絵空事ではないことを示し、それを評価基準として採用している。そのため、読者は堅固かつ明快な分析枠組みと尺度を手にも本書を読み進められる（第1章）。

次いで、①共同富裕政策と改革開放・イノベーションの行方、②人口動態の影響と対策の見通し、③デジタル化の行方、④脱炭素化、⑤

金融・不動産リスク、⑥米中対立の行方がどのような経路を通じて中国経済をどの程度減速させるのかが検討される（第2～7章）。どの論点も中国経済の先行きを考えるうえで外すことのできないものである。しかも、中国経済が抱えるリスクとして今現在強く意識されているものばかりである。また、いずれの論点も、構造変化の要点、重要な政策や企業動向、国際比較などを踏まえたうえで展望が示される。『中国減速の深層』という書名に違わぬ内容といえる。

これだけの論点を網羅したうえで、定量的分析も加えて中国の成長シナリオを示した類書は他にない。また、成長シナリオとして本書は「良好」、「基本」、「リスク」の三つを提示しているが、「良好」、「リスク」シナリオも相応の現実味を備えている（第8章）。著者の力量がそこにも現れている。

複数のシナリオが現実味を持つということは、中国経済が強さと弱さの併存状態にあり、不確実性が高いこと、逆に言えば中国経済は変化の余地が大きいことの表れでもある。著者はその点を重視し、中国の先行きに対する安易な決定論を退け、正確なリスク認識と適切なリスク管理、中国ビジネスにおける選択と集中、中国政府との関係構築やロビイングの重要性を説いている。同時に著者は、グローバルな発展を狙う企業にとり中国市場を捨てるという選択肢はないと主張する。それは、減速すれども、日本の3倍近くの規模を持つ中国が日本よりもはるかに高い成長率で伸びていく可能性が高いとの分析結果に基づいている（おわりに）。

台湾有事や中国の政治的混乱のリスク、「ゼロコロナ」政策の先行きに強い関心を持つ読者にとっては、これらの論点のさらなる深堀りを期待したいところかもしれないが、それを補って余りある知見が本書には読みやすく盛り込まれている。産業界のみならず、政官学いずれの人々にとっても、大いに参考になるだろう。

（いとう しんご）